



若竹のごとく子どもたちがまっすぐに伸びてほしいという願いを込めています。

梅雨に入りました。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。前回の学校だよりにも話題に挙げましたが、私（校長）が正門前に立っていると、先月より進んで元気なあいさつしてくれる子が少しずつ増えてきたように感じます。児童会や委員会でも、「気持ちよいあいさつや会釈をする取組」について話し合い、取組を行って来ています。挨拶は、基本的な生活の基本の一つです。さらに、高城小学校が挨拶で溢れてほしいです。



そのような中、多くの行事や取組がありました。いくつかの取組を紹介いたします。

## 保護者引き渡し避難訓練

5月24日（金）に、非常時（地震や噴火、事件等）を想定し、引き渡しが必要であると判断のもと、保護者引き渡し避難訓練を実施しました。学校での大まかな流れは、次のとおりです。

- ①学年主任等を集め、引き渡しが必要であることを伝える。
- ②各教室で児童へ担任から非常時の説明があり、引き渡し訓練を行うことを伝える。
- ③放送を行い、子どもたちを順次、体育館へ移動させる。
- ④シグフィーで引き渡しの連絡を保護者に行い、地区別に運動場へ車を止め、体育館で保護者へ引き渡しを行う。



保護者の皆様のご協力ですみずくに引き渡し訓練が実施できました。何もないことが一番ですが、いつ何があるか分かりません。学校では、非常時に備えて、リスク・マネジメントを考えながら、子どもたちの安全を考えていきます。ご協力ありがとうございました。

## 宮崎県警察隊による音楽の鑑賞教室

6月4日（火）に鑑賞教室がありました。今年度は、宮崎県警の音楽隊の方々にお越しいただき、音楽鑑賞を行いました。演奏曲は、子どもたちにお馴染みの曲が多くあり、手拍子をしたり、歌ったりする場面もありました。高城小学校の校歌を演奏があり、みんなで大合唱でした。代表児童による指揮者体験もありました。

また、カラーガードの方々の交通安全等の啓発演技があり、音楽を聴くだけではない安全意識を高める有意義な時間を過ごすことができました。さらに、本校職員と吹奏楽部による共演もありました。



## 高城高校の生徒と連携した6年生家庭科の取組



6月5日(水)に6年の1学級が高城高校に行き、家庭科の学習でナップザックを作る学習を行いました。この学習では、高城高校の家庭科の先生や生徒さんの協力をいただきながら、ナップザックを作ることができました。

担任だけでミシンの学習を行うと、ミシンの不具合があった場合に対応に追われ、学習が進まないことも多々あります。写真のようにたくさんの生徒さんに丁寧なアドバイスをいただき、スムーズに作業を進めることができました。子どもたちも真剣に作業を進めていました。このように、高校生と交流できたことは、小学校と高校の連携を進めるいい機会となり、コミュニケーション能力も高めることができましたと感じました。右の写真が完成したナップザックです。高城高校の皆さん、ご協力ありがとうございました。



## 非行防止教室

6月5日(水)に5年生と4年生の5クラスで非行防止教室を行いました。都城警察署のスクールサポーターと指導員の方々に、「学校内外の生活でしてよいことと悪いことについて」、「きまりを守ることの大切さ」などについて、視覚的なプレゼンテーションを交えながら、分かりやすく授業していただきました。子どもたちは、真剣に授業を聞いていました。



## 心ぽかぽかウィークの取組

心ぽかぽかウィークとは、高城小学校で取り組んでいる、毎月1回の人権を大切にするための取組です。6月は、各学級で人権に関する標語を作り、人権意識を高揚させています。各学級で作った標語を紹介し、紙面の関係で、各学年1作品を紹介し、自他の生命を大切にする心情や態度をしっかりと身に付けてもらいたいと思います。



「ともだちをきずつけないよ わるぐちで」…1年	「君の声 助けてあげるよ 大丈夫」…2年
「ありがとう 魔法の言葉で 笑顔きらきら」…3年	「大切に ぽかぽか笑顔で ありがとう」…4年
「ほめ言葉 心ぽかぽか 栄養だ」…5年	「幸せを 世界のもんなで 広めよう」…6年

※ 学校行事や学校生活の様子等は、ホームページにも掲載していますのでぜひご覧ください。